

20250929_i-スマ定例会（9月）_議事録（要旨版）

【開催概要】

開催日時：2025年9月29日（月）14:00～15:10

開催方法：オンライン（Teams）

参加団体数：30団体

【1.i-スマ運営関連】

新規参画団体として、以下1団体より挨拶がありました。

- 中部電力パワーグリッド株式会社：i-スマ会員と連携して地域貢献していきたい旨が示されました。

【2.白鳥会長からの情報共有（新たなi-スマの取り組み提案）】

白鳥会長から、i-スマ活動を「市役所主導の最先端の取組」と「会員企業の応援的な取組」という両輪で進めていく方針が共有されました。

特に以下の2点が重点として示されました。

- 「会員企業間の応援」：企業間の連携・マッチングを促進
- 「市民からのサポート」：市民が他市民にサービスを案内・サポートする体制

これらの提案に対し、ICCから「情報発信プラットフォーム」の活用案が示され、尾張一宮駅前ビル等での既存事業との連携可能性も言及されました。

また、遠藤CIO補佐監からは、他団体による情報発信の受け皿としての機能強化の提案がなされました。

【3.中野市長から会員へのご挨拶】

中野市長から、i-スマ活動への謝意が述べられ、行政手続きDXの一例として「書かない窓口」の導入やマイナ保険証の利用拡大について紹介されました。

国との制度調整により、法制度面での障壁を乗り越えた事例が共有され、会員にも自治体業務DXに関する積極的な提案が呼びかけられました。

【4.地域DXに係る活動概況】

一宮市の地域DXの全体像および2024年度の取り組み状況が説明されました。

【5.既存事業の情報共有 | 2025年度実装事業】

2025年度実装予定事業一覧に関する説明が行われ、名鉄から「MaaSアプリ事業（CentX）」に関する詳細説明がありました。

【6. 新規事業の検討 | ①2026 年度実装事業のアイデア検討】

6月の「DX 事業提案会」で提出された提案については、原課との接続が行われており、事業化に向けた検討が進行中である旨が報告されました。提案団体から共有可能な内容があれば、i-スマ会員に向けて適宜共有される予定です。

【7. 新規事業の検討 | ②2027 年度実装事業のアイデア検討】

ソリューション紹介の希望者がいなかったため、本会では割愛されました。

【8. その他（会員からの情報共有・質疑等）】

一宮研伸大学から、白鳥会長の提案に基づく「市民サポーター制度」に協力可能である旨の表明がありました。具体的には、学生に対する「学長名義でのサポーター認定」などが構想されており、今後の実現に向けて協議が進められる見込みです。

【9. 次回以降の i-スマ活動について】

10月に開催予定の定例会について案内がありました。

【総括】

白鳥会長から、今回も具体的な提案や協力表明があったことへの感謝が述べられました。今後も会員発の企画が地域実装につながるよう、引き続きの意見交換と連携の促進が呼びかけられました。